

令和4年5月11日（水）

国土交通省関東地方整備局 荒川上流河川事務所

武州ガス株式会社

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

記者発表資料

武州・入間川プロジェクト（官民連携による市民活動の助成事業）
の助成団体を選定しました。

令和3年12月1日より募集を開始した、「武州・入間川プロジェクト」（官民連携による市民活動の助成事業）に多数のご応募をいただき誠にありがとうございました。

「武州・入間川プロジェクト」では、第13回入間川環境保全支援委員会を開催[※]し、応募団体の活動内容や助成内容を審査したうえ、別紙の団体（11団体）を選定しました。

※委員会については、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しWEBにて開催しました。

【武州・入間川プロジェクト】

武州ガス株式会社（企業者）、荒川上流河川事務所（河川管理者）、（公財）埼玉県生態系保護協会（有識者）が主体となり、入間川流域で環境保全活動をされている市民団体等に、活動支援を行う新しい形の官民連携事業です。この取り組みにより、河川を軸とした地域社会の活性化はもとより、河川環境管理の質的向上を目指します。

発表記者クラブ		
埼玉県政記者クラブ	川越新聞記者会	所沢記者クラブ
神奈川建設記者会	竹芝記者クラブ	

お問い合わせ先			
国土交通省 関東地方整備局 荒川上流河川事務所			
副所長	たかはし 高橋	やすし 靖（内線 205）	
調査課長	よだ 與田	なおと 直斗（内線 351）	TEL049-246-6360
武州ガス(株)			
企画部長	おおくぼ 大久保	ただお 忠夫	
企画チームマネージャー	すべ 須部	ひろふみ 洋史	TEL049-241-9590
(公財)埼玉県生態系保護協会			
事務局長	まえだ 前田	ひろゆき 博之	TEL048-645-0570

(別紙)

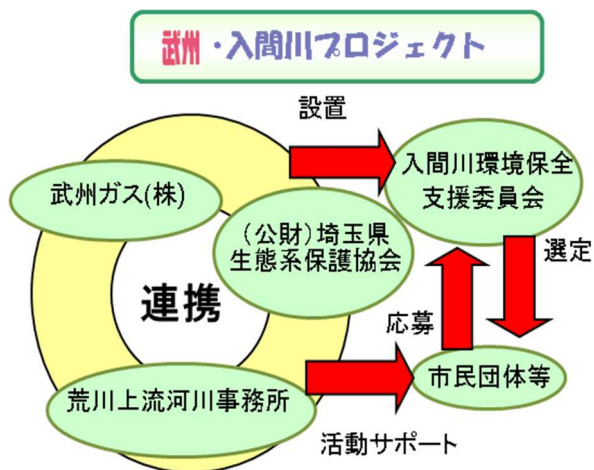
令4年度 助成団体一覧

番号	団体名	活動タイトル	団体種別	代表者	設立年	申請活動種別	活動期間	活動場所	主な助成希望内容
1	高麗川ふるさと会	清流高麗川プロジェクト	市民団体	三浦 輝夫	2003年	環境保全活動	2022年4月 ～2023年3月	坂戸市(高麗川／浅羽ビオトープ)	清掃活動、環境整備 野鳥調査、植生観察会 水質調査 「こまがわニュース」発行
2	特定非営利活動法人 荒川流域ネットワーク	入間川一斉水質調査 及びマップ作成	特定非営利活動 法人	鈴木 勝行	1995年	自然環境調査	2022年4月 ～2023年3月	川越市・入間市・狭山市・鶴ヶ島市・坂戸市・日高市・嵐山町・鳩山町・ときがわ町他(入間川水系)	水質検査キットの確保 流域の水質調査 一斉水質調査マップの印刷、配布
3	埼玉県立総合教育センター 江南支所	「農業・環境・自然」高校生体験活動	その他	川目 晴久	1965年	環境保全活動	2022年8月 ～11月	川越市、川島町(入間川、荒川／三ツ又沼ビオトープ)	高校生対象の保全ボランティア実習 外来種の駆除 活動展示パネル製作
4	狭山市立入間川小学校	ぼくたち、入間川探検隊!	小学校	新井 忠洋	1874年	環境・体験学習	2022年4月 ～2023年2月	狭山市(入間川)	水生生物調査、水質検査等の環境学習 カヌー体験、地引網体験 学習発表会 講師の招へい
5	特定非営利活動法人 荒川の自然を守る会	三ツ又沼ビオトープの 自然環境管理作業	特定非営利活動 法人	木ノ内 勝平	1991年	環境保全活動	2022年4月 ～2023年3月	上尾市、川島町、川越市 境界付近(入間川、荒川／三ツ又沼ビオトープ)	外来植物の駆除、在来野草の育苗と移植活動 自然観察会 広報活動のための資料作成 枯れたハチク撤去作業の機器リース 保険
6	上尾の自然を守る教職員の会	三ツ又沼ビオトープの 自然環境を楽しむ会	市民団体	赤羽 栄子	1998年	環境・体験学習	2022年4月 ～2023年3月	上尾市、川島町、川越市 境界付近(入間川、荒川／三ツ又沼ビオトープ)	自然観察 焼き芋 ヨシ刈り 七草粥
7	特定非営利活動法人 はとやま環境フォーラム	鳩山における自然環境 調査保全活動	特定非営利活動 法人	愛場 謙嗣	2007年	自然環境調査	2022年4月 ～2023年3月	鳩山町(唐沢川)	水質調査(農薬成分残留調査) 情報公開費用 展示パネル作成
8	SUN JOY南小畔川	アレチウリ駆除と海ブラ ゴミ阻止活動	市民団体	安原 昭司	2013年	環境保全活動	2022年4月 ～2023年2月	川越市笠幡(南小畔川／田中橋～神明橋)	アレチウリ駆除と雑木処理 ブラゴミ回収 蜆の幼虫飼育、放蜆 活動記録作成
9	埼玉県立いずみ高等学校	三ツ又沼ビオトープの 環境保全活動	高等学校	小川 剛	1962年	環境保全活動	2022年4月 ～2023年2月	川島町(入間川、荒川／三ツ又沼ビオトープ)	管理作業研修、貸し切りバス利用 発芽・生育試験
10	城西大学	ホトケドジョウの生息 地を環境DNAで探る	大学	藤野 陽三	1965年	自然環境調査	2022年5月 ～2023年2月	坂戸市(高麗川・葛川・越辺川・唐沢川・小畔川)	環境DNA解析 学会報告
11	川島町立つばさ南小学校	大好き川島! ～守ろう 川島の緑と水～	小学校	新井 馨	2018年	環境保全活動	2022年4月 ～2023年3月	川島町(入間川、荒川／三ツ又沼ビオトープ)	三ツ又沼ビオトープでのフィールドワーク (自然観察、外来種駆除、植え戻したハンノキ観察等) 調べ学習・新聞作り 発表会

1. 「武州・入間川プロジェクト」概要

「武州・入間川プロジェクト」は、武州ガス株式会社（企業者）、荒川上流河川事務所（河川管理者）、（公財）埼玉県生態系保護協会（有識者）が主体となり、入間川流域で環境保全活動を行っている市民団体等に、活動助成を行うものです。本プロジェクトは、これら三者の連携により、河川を軸にした地域社会の活性化と、河川環境管理の質的向上を目指します。

活動助成にあたっては、助成する市民団体等を募集し、別途学識者を含めた「入間川環境保全支援委員会」により助成団体を選定します。選定された団体に、助成金を交付（最大20万円）するだけでなく、必要により当該河川に関する情報提供、専門家、講師の派遣など活動をサポートいたします。



各主体からの支援内容は以下の通りです。

【武州ガス株式会社】

活動資金の提供（活動助成）等

【荒川上流河川事務所】

活動フィールドの提供、河川に関する講師の派遣・情報の提供、調査の共同実施

【公益財団法人埼玉県生態系保護協会】

市民団体等への指導・助言、専門家の派遣等

2. 助成対象期間

令和4年4月1日～令和5年3月1日の間に実施する活動

3. 選定結果

選定された団体名は別紙の通りです。

4. 令和3年度までの助成状況

武州・入間川プロジェクトでは平成22年度のプロジェクト開始以来12年間で累計 147団体の活動を助成し、助成総額は 20,725,621円となりました。



令和4年度武州・入間川プロジェクトの助成を受けた活動の様子

（小学校で魚類調査学習・特定外来種の駆除作業）

※今までの助成活動は、https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo_index049.html をご確認ください。